

グラビティエンジニアリング株式会社 設立趣意書

重力は無限のエネルギー源であることは古くから知られていたが、そのエネルギーを取り出すことは困難なものと考えられていた。

発起人は、この困難な課題に長年に渡り取り組み、最近、重力発電機なる発明を考案した。この発明が実用化されれば、エネルギー問題、地球環境問題は解決されると言えよう。

重力を推進エンジンとすれば、ロケットエンジンの次世代のエンジンとして真の宇宙開発の礎となるであろう。このように今まで工業的に応用されることが少なかった重力は大きな可能性を秘めている。

江戸時代の人と現代人の違いは何であろうか。生物としての思考能力はほとんど変わっていないであろうし、宇宙から材料を仕入れたわけでもないのに材料は現代と同じである。その違いは知識の量であり、知識によって生み出された機械装置の利用である。発明は知識を組み合わせることによって得られる一種の情報処理の結果である。

インターネットは極めて限られたコミュニティの人だけが得られたような知識を公開し、人々の知識を飛躍的に増大させた。その結果として生み出された知識が再び公開され、相乗的に人類文明の発展に貢献している。

グラビティエンジニアリング株式会社はその名が示すように重力を応用した工業化を目指す。さらに知識創造の直接的な方法としての情報処理により人類文明への貢献を意図し設立するものである。

平成18年6月5日

設立発起人 都田 隆